

# 芸閣

～図書館だより～

第4号  
2016年12月

桐蔭高校  
図書館発行



図書館講座ご案内

## 博物館へ行こう！

日時 12月22日（木） 13:30～15:30  
（三者面談の日です）

場所 和歌山県立博物館（和歌山城のすぐ近く）

内容 博物館見学  
博物館学芸員の仕事について

参加を希望する人は図書館まで申し込みに来てください。

（高校図書館員1、2年生と中学校図書委員は全員参加です。）

申込締切 12月14日（水）

※参加希望者が多数の場合、抽選になることがあります。

## ～～～第2ブロック生徒図書充実委員会報告～～～

私たちは、生徒図書充実委員会で県立博物館へ行ってきました。

県立博物館では特別展とバックヤードを見せていただきました。バックヤードツアーでは、横には切れて縦には切れない不思議な薄葉紙を使って梱包するなど、貴重な文化財を守るための様々な工夫がなされていました。また、江戸時代に使われていたお金に実際に触れさせていただくなどの貴重な興味深い体験をすることができて、よかったです。

東山侑加

11月1日、私たちは和歌山県立博物館へ行きました。目的は施設見学と特別展の見学でした。

まず、施設見学では、普段、見ることができない博物館の裏側を見ることができました。文化財の写真を撮ったり、展覧会ごとにスポットライトの向きや入れ物、台を変えたりすることがわかりました。そして、文化財を保存し、未来へ伝えることこそ一番の博物館の仕事だとわかりました。

次に、特別展では長沢蘆雪という水墨画を描いた人物について学びました。イタチやトンボといった小さな動物に焦点をあてた絵が多く、細部まで楽しむことができました。

稲豊幸菜

（裏面もご覧ください）



## 夏目漱石 没後 100 年

夏目漱石は、1916年12月9日に49歳で亡くなりました。今年は無後100年にあたります。

図書館では、今、「吾輩は猫である」「坊っちゃん」「三四郎」「それから」「こころ」など夏目漱石の書いた本や、夏目漱石にちなんだ本を展示しています。夏目漱石がかいた手紙、絵、書、原稿などの写真が載った本（『図説 漱石大観』）もあります。興味深い本です。

## 新着図書紹介



『おもかげ復元師』 笹原留似子著 ポプラ社  
 『はじめての論文作成術』 宅間紘一著 日中出版  
 『学校では教えてくれないゆかいな日本語』  
 今野真二ほか著 河出書房新社  
 『期待はずれのドラフト1位』 元永知宏著 岩波書店  
 『新聞力』 斎藤孝著 筑摩書房  
 『研究するって面白い!』 伊藤由佳理著 岩波書店  
 『ノーベル賞でつかむ現代科学』  
 小山慶太著 岩波書店  
 『幸せはあなたの心が決める』  
 渡辺和子著 PHP 研究所  
 『みかづき』 森絵都著 集英社  
 『恋のゴンドラ』 東野圭吾著 実業之日本社  
 『花咲小路二丁目の花乃子さん』  
 小路幸也著 ポプラ社  
 『ぼくのおじさん』 北杜夫著 新潮社  
 『ファミレス』 重松清著 日本経済新聞出版社  
 『もらい泣き』 冲方丁著 集英社  
 『トリガール!』 中村航著 角川マガジンス  
 『上京物語』  
 喜多川泰著 ディスカヴァー・トゥエンティワン  
 『君の名は』 新海誠著 KADOKAWA  
 『黒田官兵衛は名探偵』 楠木誠一郎著 講談社

『ハリー・ポッターと呪いの子』  
 J・K・ローリング著 静山社  
 『「いい質問」が人を動かす』 谷原誠著 文響社  
 『17歳に贈る人生哲学』 葉祥明著 PHP 研究所  
 『夏目漱石を読む』 吉本隆明著 筑摩書房  
 『あなたのままで輝いて  
 ～マザー・テレサが教えてくれたこと』  
 片柳弘史文 PHP 研究所  
 『脳が壊れた』 鈴木大介著 新潮社  
 『働くことを考えはじめたとき読む本』  
 有川真由美著 PHP 研究所  
 『母さんがどんなに僕を嫌いでも』  
 歌川たいじ著 PHP 研究所  
 『健康常識100のウソ』 三石巖著 幻冬舎  
 『日本を大切に仕事』 山岡淳一郎著 英治出版  
 『貧困 子供のSOS』 読売新聞社会部著 中央公論新社  
 『しなやかに生きる心の片づけ』  
 渡辺奈都子著 大和書房  
 『人脈につながるマナーの常識』  
 桜井秀勲著 きずな出版  
 『すごい人の法則』 前山亜社武著 フォレスト出版  
 『冒険登山のすすめ』 米山悟著 筑摩書房